

学科名	A I システム科
コース名	
授業科目	スポーツ実習 2
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	
実務経験	
実務経験職種	
授業概要	スキー・スノーボード合宿を実施する。まず初めに、スキー・スノーボードスクールにて自分の習熟度に合わせたレッスンを受けた後、自由滑走でレッスンで習った滑走技術を実践して技術の習熟に努める。また、合宿を通した集団生活を送ることで、学科・学年・クラスを跨いだ交流を図り、集団行動でのルール・マナーの学習やコミュニケーション能力の向上を目指す。
到達目標	A：スキースノーボードスクールでの滑走技術の習得 B：自由滑走での滑走技術の習熟 C：集団生活でのルール・マナー
授業方法	生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力、知識などを身に付けながら、自己管理能力の育成、集団生活の体験からルール・マナーの学習やコミュニケーション能力を培う
成績評価方法	スキースノーボードスクールの参加、自習滑走の参加、集団生活での生活態度、まとめアンケートによって評価する。
履修上の注意	各自、自己のスキルにあったスキー・スノーボードスクールのコースを事前に選択すること。コース選択時に決して無理のないコースを選択するようにし、各コースのインストラクターの指示のもと、安全な滑走に努めること。自由滑走時には、必ず数名のグループで行動し、決して単独行動をすることがないようにする。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位として認定することができない。
教科書・教材	配布資料

授業計画	
第1回	事前説明・オリエンテーション（実習内容、共同生活、注意事項などを確認する）
第2回	スキー・スノーボードスクール(1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第3回	スキー・スノーボードスクール(2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第4回	スキー・スノーボードスクール(3)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第5回	自由滑走(1-1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第6回	自由滑走(1-2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第7回	自由滑走(2-1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第8回	自由滑走(2-2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第9回	自由滑走(3-1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第10回	自由滑走(3-2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第11回	自由滑走(4-1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第12回	自由滑走(4-2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第13回	自由滑走(5-1)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第14回	自由滑走(5-2)（各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする）
第15回	まとめ（実習の振り返り）